

 佐久市議会だより

ギカイの窓

2020年(令和2年)5月1日 No.60

特集

ごみ・資源物収集業者 × 市議会

トピックス

令和2年3月定例会

新たに予算委員会を設置し予算案を審査

市政を問います！代表質問・一般質問

新型コロナウイルス感染症の対応について

表紙

佐久鯉、のぼる。

撮影者 m j

場所 瀬戸原

ごみ・資源物 収集業者 × 市議会

ごみの不法投棄などによる環境汚染や海洋プラスチック問題は世界的な課題となっています。佐久市においても例外でなく、ごみを減らすリデュース、再利用するリユース、再資源化するリサイクルを推奨しています。しかし、佐久市のごみは減っていません。今回はごみや資源物の現状を知り尽くす業者のみなさんにお話をお聞きしました。

誰もが出すごみ、でも分別すれば資源もつとごみに関心を持つて!!

―普段のお仕事の様子や苦労していることなどは何ですか。

・私は容器プラスチックごみ袋の破袋作業をしています。電池やカミソリが混ざっていて、作業も危険です。作業できる量も限られていて、きれいに分別し

てあるプラスチックでないと言源として引き取ってもらえせん。

・全国の電池などによる火災トラブルが今年度はすでに256件もありました。電子タバコの電池も危険です。

・電池やスプレー缶が原因で、パッカー車の中で火事になったことが何度もあります。

・ごみの分別ができていなくてイエローカードを貼ってくると「違反物を入れていない」とか「中身を見たのか」などの苦情

があります。プラスチックの袋を重ねることも禁止なのに、よく見かけます。

―市民のみなさんに伝えたいことはありますか

・ボランテニアで不法投棄の回収をしています。たくさん家庭ごみが捨てられています。毎日運び込まれる5tの容器プラスチックから除去している異物は約120キロ。その中で一番



浅間清掃有限会社
高橋秀則 さん



佐久総合資源センター協同組合
高橋博美 さん



佐久シルバー人材センター
小井戸為行 さん



株式会社平元商店
平元鐘哲 さん



株式会社光和建設
齊藤元 さん



東信塵芥収集企業組合
木内隆雄 さん



有限会社東信環境衛生社
細谷新司 さん



多いのはお弁当の容器がビニール袋に入ったものです。きれいにして出せば資源ということを知ってほしいです。

・収集車もきれいにして、イメージアップに心掛けています。安全パトロールとして見てもらえるといいなと思います。

・もっとごみに興味を持ってもらいたい。興味を持てば、行動が変わってくる。持続可能な社会のために多少面倒なことでも、できることをやらなければ。

・人材不足も深刻な問題です。ごみはみんなが出すものだから、一人一人がごみに興味を持てば、少しずつ変わっていくし、業者も作業しやすくなり、街もよりきれいになっていくと思います。

―佐久市に望むことは

・分別すればごみも資源というアピールにもっと力を入れてほしい。新クリーンセンターについても話し合いをしていただき、提案など聞いてもらえれば、お互いやりやすくなると思います。

常 任 委 員 会 審 査 報 告

**条例案4件・事件案2件を原案可決
免税軽油制度の継続を求める請願を採択**

総務文教委員会 委員長 井出 浩 司

佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定。ケーブルテレビ光ケーブル施設整備事業に関する協定の締結について等を原案可決。「免税軽油制度の継続を求める請願」について全会一致により採択。

積立基金条例の一部を改正する条例の制定については、防災対策基金を災害に強い安全なまちづくりの実現のために、ハザードマップの作成や備品の購入など有効に活用してほしいと意見があった。

ケーブルテレビ光ケーブル施設整備事業に関する協定の締結については、臨時会での議会からの附帯決議の内容を最大限尊重して頂き、都度報告を求めていく。光回線を活用した防災・防犯を

進めてほしいと意見があった。

完成した県立

武道館を視察し、市民のスポーツ活動と文化活動の更なる充実を

提言した。



3月に開館した県立武道館

**条例案5件・事件案7件の計12件と陳情
1件を審査**

経済建設委員会 委員長 柳 澤 潔

・ワークテラス佐久（旧情報センター）の指定管理者の指定について等を原案可決。
・住民合意のない大規模太陽光発電施設建設を認めない条例の制定を求める陳情の審査をしました。

・ワークテラス佐久は、子ども連れのワークスペースもあり、時間や場所にとらわれない働き方ができることを確認しました。

・佐久運動公園第二駐車場は、駐車場として使用しないときは、グラウンドとしても利用できるようクレー舗装されていることを確認しました。

・住民合意のない大規模太陽光発電施設建設を認めない条例の制定を求める陳情は、自然災害の発生等を懸念する地元住民の気持ちは分かるが、条例を制定するまでの状況が醸成されていない等の理由により、不採択と決しました。



子ども連れワークスペース（ワークテラス佐久）

**災害弔慰金支給等に関する条例等の条例
改正案3件・陳情2件を審査**

社会委員会 委員長 内 藤 祐 子

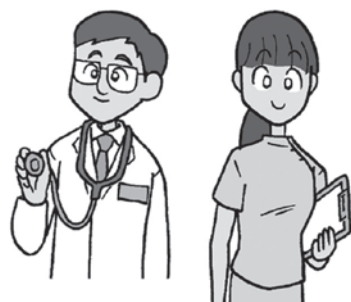
・災害関連死等を審議する審査会を設置するための条例改正・浅間病院の循環器内科医師2名、産婦人科医師2名その他の職員増に伴う定数の増員変更・「中高年のひきこもりに対する国の支援を求める陳情」全会一致で採択

・災害による死亡や障害であるかについては明確な指針等がない。多くの事例を研究して整備して欲しいとの意見があった。

・今後とも、浅間病院の医師、看護師等を充たさせるために更に努めて欲しい。

・「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情」については、佐久市には開業医もたくさんおり、実際の現場の意見を聞き調査する必要がある、継続審査とした。

・「就職氷河期を含めた中高年のひきこもり」の課題は深刻。アウトリーチ支援や断らない伴走型支援等国の責任での支援と対策が必要であると、全会一致で採択した。



ひとくちメモ

- 議案の概要や審議結果等は18ページをご覧ください。
- 予算委員会が新たに常任委員会として設置されました。

初の委員会で新年度の当初予算案や台風と新型コロナウイルス関連等の補正予算案を審査

予算委員会 委員長 小林 貴幸

佐久市議会初となる予算常任委員会が設置。令和2年度の一般会計当初・補正予算と11特別会計当初予算の予算案13件を原案可決。令和元年度の一般会計補正予算と9特別会計補正予算の予算案13件を原案可決。

佐久市議会では、議長を除く全議員で構成し予算案の審査を行う予算常任委員会を新たに設置し、この令和2年3月定例会から活動がスタートしました。

令和2年度の当初予算案は、一般会計と11ある特別会計あわせて総額約840億円という予算規模でした。また、元年度と2年度の一一般会計補正予算案は、台風災害や新型コロナウイルス関連予算が主な内容でした。

付託された予算案26件は、予算委員会の各分科会による審査を経て、慎重審議の結果、原案可決と決し、本会議で予算委員会における審査結果の報告を行いました。



本会議での委員会審査報告の様子

予算委員会

総務文教分科会長報告

分科会長 井出 浩司

予算審査における主な意見は以下の通り。消防費について、今回の台風災害を受けて消防団員への連絡手段として災害現場の情報等をAI技術を活用してリアルタイムに収集できるような仕組みを検討したかどうか。小学校教育整備事業費について、佐久平浅間小学校の増築事業は今回の計画を実行後はこれ以上ないとのことなので今後通学区の見直し

を検討する場合は地元との協議をおこなってほしい。文化振興施設復旧事業について、議会からの附帯決議を尊重し改良による事業計画は評価できる、復旧方法を確認した上で浸水した場合の排水方法などについて設計の段階で慎重に検討してほしい。

予算委員会

経済建設分科会長報告

分科会長 柳澤 潔

令和元年度下水道事業特別会計補正予算では、令和元年度日本台風で被害にあった下水道管理センターの災害復旧費は、幸い修繕等で済むものがあつたこと等の理由により、約48億円が減額となることを確認しました。

令和2年度工業用地取得造成事業では、令和3年度分譲開始予定となる（仮称）佐久白

田インター工業団地5区画の造成工事業費を確認しました。

令和2年度一般会計補正予算の商工費では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障が生じている中小企業等への支援策として、経営安定支援資金約16億円を見込んでいることを確認しました。

予算委員会

社会分科会長報告

分科会長 内藤 祐子

◆令和元年度補正予算について
・台風19号の影響による各種大会・会議・工事等の延期・中止に伴う減額補正
・国保特別会計が約3億円の基金積立て

◆令和2年度一般会計・特別会計

・人権同和対策費に関連し、部落差別・男女差別・ネットいじめ等あらゆる差別に対策を行い続ける取り組みの必要性を確認

・基本健診等事業費の新規事業「若い世代のためのツーカーイン健診事業」は画期的であり、SNS等での周知も検討願いたい。
・結婚支援事業補助金は利用団体と意見交換を行い、推進できるように検討願いたい。
・浅間病院で循環器内科医師の採用に伴い、心臓カテーテルに係る施設等の整備。

4 会派が市政を問います

代 表 質 問



- 代表質問の紙面は、議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ・FMさくいだいらでの放送やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。

ひとくちメモ

代表質問とは

当該議会に所属する会（党）派を代表して行う質問のことをいう。当初予算が審議される予算議会のように質問者が多い場合、会期日数との関係から、特定の議員が会派又は政党を代表して、長が執行する一般事務のうち各行政部門ごとに質問事項をまとめ、これについて質問することをいう。

佐久市議会では、通常3月議会に代表質問を行うが、議員改選の年は6月議会に行っている。



動画配信 QRコード

新政ネット

当初予算編成と施政方針・新型コロナウイルス
・台風災害について市長の見解を問う

質問者



やなぎさわ きよし 柳澤 潔
こばやし たかゆき 小林 貴幸

会派代表 小林 貴幸

◆ 令和2年度当初予算編成と自主財源確保に向けた施策の推進について

Q 3期目の市長任期最終年度における施政方針と市政運営について。

A 令和2年度は3期目の総仕上げとして市民の皆様とのお約束を実現するため、着実に歩みを進めていく所存である。

Q 新政ネット「令和元年台風第19号被害と令和2年度主要施策に関する提言書」について。

A 8分野41項目にわたる貴重な提言をいただいた。災害関連の提言は緊急かつ迅速に対応する。他の主要施策の提言には市の考えを整理しお答えする。

Q 中部横断自動車道の早期の全

線整備について。

A 未整備の長坂JCTから八千穂高原IC間は、環境影響評価の手続き終了及び都市計画決定後に事業着手となる予定である。

Q 佐久平駅南土地区画整理事業について。

A 組合の造成工事は令和3年度末まで行われる。土地利用は、商業業務拠点としてカインズとフォレストモールに加えホテルや地元企業のテナント、また都市居住機能としてマンションや戸建て住宅等が予定されていると聞いている。市は無電柱化の幹線道路、広場や公園等を整備する。周辺道路として、中佐都バイパスは令和3年3月末までの全線開通を目指し工事を進めていると県から聞いている。常

田・赤岩線は東側起点から赤岩団地間の市外居住土地所有者から将来の土地利用について聞き取りを行ったところであり、重要な路線であるので県や小諸市、地元協議会との協議を再開したい。相生大手線は令和5年度までの計画で子ども未来館南交差点から相生町交差点までを無電柱化路線として県において整備を行っている。

Q (仮称)佐久白田インター工業団地の整備事業について。

A 令和2年度に5区画の造成工事、令和3年度に分譲開始を目指していく。

Q 佐久平浅間小学校の増築について。

A 推計で令和4年度には普通教室数に不足が生じ児童数の増加も見込まれることから増築を行うこととした。今回の増築により大規模校の最大級となるので、今後仮に普通教室が不足する事態となっても更なる増築は考えておらず、通学区の変更も検討する必要がある。

Q 県立武道館の竣工と開館について。

A 市スポーツ少年団の利用は料金が免除されることになった。市が主催・共催する大会やイベントについても、市営武道館と同等に利用できるよう、協議を進めている。

Q 東京オリンピックピック・パラリンピックの対応について。

A エストニア選手の事前合宿は、陸上競技と柔道競技について行いたいと申し入れがあった。2月に来日したラタス首相からは「開催期間中に再来日する予定があるので、その時は必ず佐久に行きたい」との言葉をいただいている。ホストタウンとして姉妹都市サク市との更なる友好関係の深化に努めたい。

◆その他の質問

・聖火リレーについて

◆新型コロナウイルス感染症への市の対策について

Q 市民への情報発信について。

A 2月14日に「佐久市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置して、市ホームページやFM佐久平で情報発信し、保健所

相談窓口のチラシを市広報紙と一緒に全戸配布した。

Q 市内で患者が発生した場合の市立浅間総合病院の対応について。

A 「感染対策マニュアル」に準じて院内に対策本部を立ち上げ、専門外来の設置を検討する。通常の診療機能に支障がないよう対応してまいりたい。

◆令和元年東日本台風(台風19号)災害について

Q 分野別の市の被害額について。

A 算出方法は異なっているが、市で管理する河川や道路、下水道関連施設などで総額約196億円である。

Q 今後の災害対策本部の設置体制の在り方について。

A この度の台風災害においても、気象庁や国土交通省、自衛隊、県、県警の各機関が、市の被害状況や箇所など自ら情報収集に努める「リエゾン」(※災害対策現地情報連絡員)として市へ人員を派遣してくれたが、関係機関との連携に、情報共有や助言を頂く際の課

題も見えてきたことから、「佐久市防災会議」で検証報告や意見交換を行う。

◆その他の質問

・復旧事業における国等の財政支援と市の実質負担について
 ・戸別受信機による市民への情報提供について
 ・河川や道路の監視カメラの設置状況と今後について
 ・地域における防災訓練等の防災意識の向上について

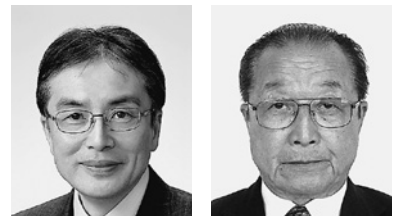


※答弁時の市側提示資料

新緑会

・異常気象への対応と森林整備状況について ・世界最高健康都市実現に向けて

質問者



たかやなぎ ひろゆき
高柳 博行



よしおか とおる
吉岡 徹

吉岡 徹

◆異常気象への対応について

Q 近年頻発する異常気象の発生

原因をどう捉えているか。

A 多くの気象学者が主張している通り、人間活動に起因する温室効果ガスの増加によるものと認識している。

Q

こうした状況に危機感を感じて世界及び国内において、「気候非常事態宣言」や、それを更に進めて温室効果ガスの削減に向けた具体的な行動計画を伴った「首長誓約」をする自治体が増えてきている。当市も昨年の台風で大きく被災した自治体としてこうした宣言や誓約を行っていますかどうか。

A

そうした自治体が増えてきているのは承知している。「宣言」

◆当市の温室効果ガス削減への取り組みについて

Q

当市の削減目標と進捗状況は。目標は平成25年度に691千トン

であった当市の総排出量を、令和9年度までに21%削減することである。実績として確定している平成28年度には、総排出量

646千トンと7%削減を果たしている。このままいけば令和9年度には36%減の441千トンまで削減できる見通しで概ね順調に取り組んでいる。

◆地域医療体系について

Q

地域医療の現状と課題は。佐久地域には、かかりつけ医としての診療所、専門的な検査

や入院設備を整えた浅間総合病院や佐久総合病院本院などの中核病院、高次救急・専門医療などを担う佐久医療センターが互

いに連携し、地域完結医療体制が構築されているが、小児科や産科・産婦人科など医師数が全国平均を下回っている。現在国

◆当市の森林整備状況とCO₂排出権の活用について

Q

当市に12ある財産区が過去3年間に行った森林整備面積とそれによって吸収されたCO₂量は。

A

整備された総面積は約222haだが、CO₂吸収量は専門家でないとは正確にはわからない。

Q

国にCO₂を削減した量をクレジットとして活動した団体等に付与し、その団体等が販売できる制度がある。売上金はまた森林整備に使える制度だ。活用できないか。

A

課題もあるが検討したい。

高柳 博行

◆特定健診の自己負担額軽減事業について

新規事業の内容は。

A 若い世代のためのツーコイン健診、働き盛り世代のための健診無料化、シニア世代のための健診無料化の三事業を実施。

◆健康ポイント制度について

今後の取り組み予定は。

A 健康の意識を高めるための手法として認識している。他の自治体の実施状況や効果検証の状況を踏まえ、研究をしていく。



日本共産党

避難所の見直しは？・ごみ焼却の問題

・県立武道館の駐車場、周辺整備

質問者



なとう 内藤
ゆうこ 祐子

◆台風19号被災からの課題

Q 防災マップの見直しは、どのような手順・手法で行うか。

A 住家被災地域の方々にアンケートを実施し、分析中だが、避難所の見直し意見もあり、今後検討を加えていく。

Q 福祉避難所について「意見を聞いて検証する」と言うが、その現況と、最初から福祉避難所を開設する事の検証は。

A 本人、家族が来庁時に聞き取りをしている。今後障がい者団体を通して意見聴取していく。

◆可燃ごみを焼却しきれるか

Q 新クリーンセンターの可燃ごみ処理の課題と対応について

A H30年度の実績処理量は1万9千50tで、計画処理量を14%超過。稼働日数を増やし、ごみ減量化を進めていく。

Q 第4期計画にごみ処理費用有料化とあるが。



10市町村に対応の新クリーンセンター

A 減量化の検討策の一つ。

◆県立武道館利用促進に向けて

Q この3月に開館となるが、3千人規模のイベント時の駐車場や周辺整備はどうするのか。

A 駒場公園を含め、創練の森全体の駐車台数は約千200台。牧場と道路間の土地を県から無償貸与で約300台で千500台が可能。道路整備については、別ルートの検討も始めている。

◆その他の質問

・障がい者のための「合理的配慮」の具体化をどう考えているか
・手話言語条例制定後の取り組み

公明党

発達支援システムについて

基盤的防災情報ネットワークについて

質問者



えもと のぶこ
江本 信彦

◆発達支援システムについて

Q 滋賀県湖南市では、乳幼児期から学齢期、そして就労まで、発達支援室という専門部署が全体を統括し、関係する複数の部署の連携により、成人後も切れ目のない支援を行っている。このようなシステムを構築できないか何う。

A 市では現在、庁内関係部署において発達障がい児・者担当者連絡会議を定期的に開催し、情報共有と連携を図っている。発達障がい児・者の支援は

早期発見・早期療育やライフステージに沿った切れ目のない支援が必要である。先進自治体の取り組み状況を参考に、より良い支援につなげてまいりたい。

◆SIP4Dについて

Q 内閣府は災害時の情報共有を支援するため、災害時情報集約支援チームを災害地に派遣する

とともに、SIP4D（基盤的防災情報ネットワーク）を適用し、昨年より本格稼働している。SIP4Dの活用について何う。

A SIP4Dの機能として災害時に多数の組織からの異なる形式の情報を集約し、必要とする組織がすぐに利用できる形式に加工・変換して提供できる。これにより迅速・的確な災害対応が実現できる。市では、災害対応能力の高い社会構築を目指す「AI防災協議会」に参画した。ここでの議論や検討を踏まえ、活用を研究したい。



発達支援システムの構築で、生涯に亘る支援を

・県下4番目に高い国保税引下げを
・佐久の地域医療を守るために



こばやし まつこ
小林 まつこ

◆国保税の引下げについて

Q 佐久市は所得200万円、資産3万円、大人2人子ども1人世帯の場合、国保税は37万540円で、県内で4番目に高い。基金残高は12億円余ある。県に納める令和2年度納付金額は、1人当たり9千425円下がる。2億円余で1人当たり1万円の引下げができるが、国保税の引下げをできないか。

A 基金があるからという観点ではなく、長期的な視点において、国保の持続可能な制度運営の確保が第一と考える。県の国保運営方針では、将来的な保険料水準の統一が掲げられており、佐久市もこの動きに合わせた対応を考えている。

◆佐久の地域医療を守るために

Q 厚労省は昨年9月、再編統合対象として、424の公立・公的病院等の名称の公表を強行した。川西赤十字病院が再編統合の対

象となったことに対して市の考えは。

A 川西赤十字病院は地域にとって必要な医療機関と考えているので、今後も厚生労働省からの情報を注視しつつ、長野県市長会総会や佐久医療圏地域医療構想調整会議などで、川西日赤病院の役割や必要性について要望していく。

◆その他の質問

・障がい者の福祉医療費給付金の提供について
・自衛官募集のための対象者名簿



川西日赤病院の存続充実が地域の切実な願い

白田地区新小学校の通学路安全対策と
遠距離通学への対応について

◆国道141号横断歩道橋を設置

Q 国道141号横断歩道橋を設置してほしいとの声が保護者の皆さんからあるが、設置に向けて状況は。

A 平成30年から県へ要望を重ねてきている。昨年末には白田地区の2千853名の保護者からの歩道橋設置の署名を頂いている。議員各位からも協力を頂き、県に対してなお一層力強く働きかけをしていく。

◆遠距離通学児童に対する対策について

◆白田地区新

Q 小学校まで通学距離が4km以上離れているなど遠距離通学の児童への対応は。

A 統合による通学規定を適用する。また、令和2年度、



子どもたちが安心して通学するために歩道橋の設置を

白田地区新小学校通学基準(案)による場合		バス		徒歩	
乗車場所	バス	バス	バス	バス	徒歩
丸山	(4)	入澤	(20)	湯原新田	(5)
山代	(6)	三條	(24)	上小田切西	(10)
川原宿	(2)	十日町	(0)	上小田切	(1)
田口中町	(8)	岩水	(2)	計	16人
下町	(18)	計	46人		
清川	(13)				
大奈良	(19)				
原	(32)				
計	102人				
		合計	164人		
				白田小学校区	上中込 (21)
					越岡 (51)
					下庵三 (16)
				切原小学校区	滝原 (3)
					中田切 (6)
					北川 (9)
					全区(平除く) (47)
				白田小学校区	全区(平除く) (223)
				合計	381人

※ 基本設計におけるスクールバス駐車可能台数:最大4台

白田地区新小学校における通学方法(案)
出典:市教育委員会学校教育課 説明会資料

◆その他の質問事項

・国の新たな奨学金の創設に伴い佐久市奨学金制度の今後の在り方について

通学路マップの作成をする中で、バス通学へのご意見ご要望を含め検討し、実際の乗降場所や運行車両便数についても詳細を詰めていく。



たかはし よしえ
高橋 よし衛

佐久市の認知症の方への支援について 佐久市の観覧系文化施設について



おおつか ゆういち
大塚 雄一

Q ここ佐久市では認知症を予防するために、どのような予防事業を行っているのか伺います。

A 高齢化に伴い、認知症高齢者は増加傾向にあり、国の推計によりますと、高齢者の4人に1人が認知症、又はその予備軍と言われ、対応が課題となっている。認知症の予防教室は脳を刺激する「はつらつ音楽サロン」、脳の活性化を図る「脳いきいき健康教室」を行っており多くの市民の参加者がいます。また、

A 施設の特徴や概要を市のホームページに掲載するとともに、観覧系文化施設を中心に構成された冊子を作成配布し、公共施設や観光案内所などへの配置を行いPRに努めてまいります。来年度は新規事業といたしまして、文化施設および市内事業者の連携による、市内の文化施設等を巡っていただき、一定の要件を満たした方に記念品を贈呈する「ぐるっと佐久スタンプラリー」の実施を予定しております。

Q 佐久市内観覧系文化施設のPRを積極的に行うべきと考えますが、現在と今後の考え方について伺います。

認知症の早期発見・早期の対応や予防意識の向上を目的とした、認知症の予防相談・啓発事業では、認知症の専門医や介護職等による認知症講演会を毎年二回開催し、毎回百人以上の方に参加頂いております。



佐久市望月歴史民俗資料館

温暖化の危機とエネルギーの地産地消 川西赤十字病院の存続と充実を！



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆地球温暖化

Q 気候変動により豪雨日や猛暑日、大型台風などの異常気象が増えると言われている。温暖化の原因である温室効果ガス削減のため、再生可能エネルギーを地産地消することが必要と考えるが、どのように行っているか。

A 住宅等建物の屋根や壁への太陽光発電設備の設置に対する補助やバイオマス燃料製造施設への補助をし、28年度には佐久市のペレット製造施設が整備。

Q 温暖化対策は市民一人一人の協力が不可欠なため、情報共有が重要。周知方法は。

A 市広報誌、ラジオ等や、小学4年生には「わが家のエコ課長」になってもらい、意識啓発。

Q ◆川西赤十字病院の存続と充実

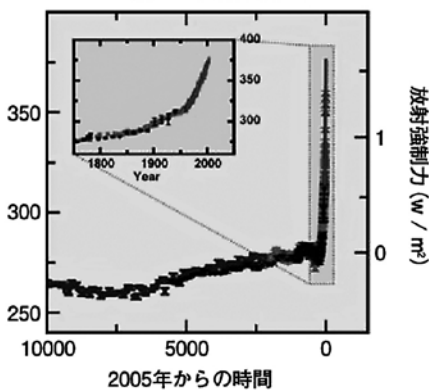
A 地域完結型医療のため重要な病院だが、市としての支援は。財政支援の他、医師不足の時は浅間病院からの医師派遣。現在

Q 在は、視能訓練士を派遣し、外来診療に対する支援。

A 建物は老朽化が進んでいるが、施設や設備の現状は。

Q 画的に修繕や更新はしているが、病棟は33年、リハビリ棟などは19年が経過し、老朽化は進んでいる。建物本体の改築に関しては病院の方針が示されてから協議する。市としては日赤の施設、医療設備が整備され、望月地区の医療環境の改善が図られることが大変重要と考える。

二酸化炭素濃度 (ppm)



出典) IPCC第4次評価報告書2007

二酸化炭素の大気中濃度

区長並びに消防団員の報酬等について 引上げを検討すべきではないか



ともしげ
つちや 俊重
土屋

◆区長報酬の引上げについて

Q 市内240区の区長さんに、市は

様々な依頼をしているが仕事量に比べ報酬や交付金が少ないのではないか。また東日本台風のようなことが有れば、我が家を顧みず区民のために日夜を問わず職務を行っている。このような場合には特別交付金の新設が必要と思うがいかがか。

A 区長報酬は来年度より、世帯別交付金に上乗せする改正を行い、今年度より全体で277万円の増額をしている。特別交付金については、区長アンケートの集計中であり提案については「災害に強いまちづくり」を構築する中で検証材料としたい。

◆消防団員の出勤手当等の引上げについて

Q 消防団員の出勤は火災や災害

が有った場合や、火災が深夜の場合、日にちをまたいでも一回につき千円を交付しているが、

A

この手当について引き上げるべきと考える。また激甚災害等発生時においては、特別出勤手当を新設すべきと考えるが見直しができないか。

A 団員には地域の安心安全のため昼夜を分かたず活動いただいている。出勤手当の在り方については「北佐久消防協会」や県内の「消防団長会議」を通じて手当などの状況調査を実施し「佐久市消防委員会」において意見をいただきたいと考える。



地域を守る消防団員に厚い手当を

市民協働のまちづくりについて



こうじ
い で 浩司
井出

Q

まちづくり活動支援金は市民の皆さんが自主的かつ主体的に取り組む地域の活動に対して支援する事業である。支援金事業の応募件数と交付実績が近年減少しているが市としてどう捉えているか。

A

市民参加型を目指す上で応募件数の減少は課題であると考えている。アンケート等を実施し調査をした結果も踏まえ活用する団体を増やすようにしていきたい。

Q

市内には様々なアイデアを持って地域活動に貢献したいと願う皆さんが大勢いる、そうした皆さんと職員が対等な立場に立って一緒に活動していくために補助率の見直し等も必要ではないか。

A

これまで交付対象経費の2分の1以内、上限100万円としていた補助率を来年度から重点テーマを設定しそのテーマに該当す

Q

場合、補助率4分の3以内、上限150万円と変更する。高額補助、少額補助の枠を無くし、どちらも県の元気づくり支援金との併用可能と見直した。

A

市長の公約でもある市民参加型市政の実現を目指す上でも街づくりへの市民意識の醸成が大切であると考えているがいかがか。

A

チラシの配布やSNS等を活用して広く周知するとともに、自分たちの街は自分たちの手で支えていこうという意識の市民活動をこれからも積極的に支援してまいりたい。



支援金の充実が地域の街づくりを支える

スポーツ推進計画の取り組みについて 令和元年東日本台風について



みついし よしふみ
三石 義文

Q 国でもオリンピック、パラリンピックの開催が決まってから「スポーツの産業化」を推進しているが、佐久市のスポーツ振興の取り組みとその効果は

A 平成29年3月に「佐久市スポーツ推進計画」を策定した。自分の健康は自分で作ることができるよう各種教室や大会を開催し、競技スポーツを振興するためのトップアスリートプレーに触れる機会の充実も行っており、スポーツ振興施策の効果が出始めている。

Q スポーツを観光資源とするスポーツツーリズムの推進は

A 大規模なスポーツ大会や合宿を積極的に誘致し、市内宿泊施設、観光施設、飲食店等の利用促進に繋げていく。

Q 災害時には避難場所は重要である。ウイルス感染予防や民間施設の活用、また車中避難者も考えた避難場所が必要では

A 防災計画に基づいて消毒剤、マスクなど配布し感染予防に取り組んでいる。避難場所についても、現在2か所民間施設と協定を結んでいる。今後も官民間を協力してもらえれば施設を模索していく。

Q 災害対応を地域と連携する上でパソコンなど地域に必要では

A 今回の教訓を踏まえ、今後の備えとして防災補助など活用して対応してもらいたい。また、今回の検証を記録として残していく。



スポーツ交流に期待が持てる総合運動公園

小中学校の特別支援教育について 小中学校の不登校対策について



しおかわ ひろし
塩川 浩志

◆特別支援教育について

Q 中学校で教科担任と支援学級の担任がどのように連携しているか。

A 年度初めに教科担任会を開き、支援方法を確認・共有したり、教科担任の授業に支援級の担任が入ったりしている。

Q 中学校にも、もっと支援員を配置する必要があるのではないか。

A 中学校でも希望があれば丁寧に把握して判断している。

Q 日々の指導に不可欠な個別指導計画は、前年度中に作って新年度当初に間に合わせるべきでは

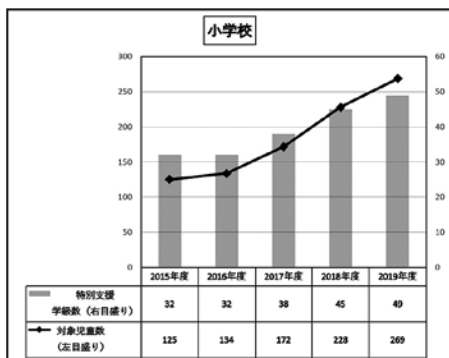
A 前年度中に具体的な素案を作り、それを基に保護者も関わり4月には計画を作成している。個別指導計画を保護者と共有できていない例が実際にある。市教委で基本ルールを示す考えは。

A 計画の作成や活用は県教委の示す方法に準じており、担任と保護者が連携できるようにして

◆不登校対策について

Q 佐久市教育振興基本計画で「不登校の出現率1%以下」が目標とされているが、国は「登校という結果のみを目標にしない」と方針転換しており、子どもたちに無用なプレッシャーがかかりかねない数値目標は見直すべきではないか。

A 目標達成のため無理に学校に戻す指導は行っていない。次期計画策定に当たっては今期6年間を総括して総合的に見直したい。



佐久市の小学校の特別支援学級数と児童数

まちづくり構想について 野沢会館改築について

◆野沢地区のまちづくり構想での
将来像に向けての取り組み

Q 野沢会館の改築や児童館移転整備が予定されているが、野沢地区のまちづくり構想で定めている将来像の実現に向けて、本構想に基づきどのように取り組んでいくのか。

A 本構想を多くの人と共有し、取り組みを進めていく。暮らしやすさを更に高め、暮らし続けていける街をめざす。野沢会館児童館移転整備、地区内道路の改修等を進める経費を当初予算案に計上した。ソフト・ハード面を問わず具体化していく。

◆野沢会館改築について

Q 野沢会館に対する期待の高さが伺えるが、今の機能が更新されるだけの生涯学習センター機能だけでなく、多世代交流をはじめ、多くの人が集まり、寄り添い、世代を超えた交流の場が望まれているが、意見募集の状



つちや ひろこ
土屋 啓子

況又、それをどう生かすのか。

A 12月の意見募集は75名157件の要望があった。ホームページ表。市民ホールは子連れの親子、高齢者・障害のある方等誰もが自由に立ち寄れる場所であって欲しいとの声が多数あった。サポートセンターがより活動しやすい空間、多くの人が交流出来る様なスペースに配慮する。

A 色々な場面で図書機能が望まれているが。

A 以前の意見募集を参考にしているので現在は考えていない。



市民活動サポートセンターの様子

未就学児の交通事故防止対策、防災士について、信州あいサポート運動の取り組み

◆未就学児の交通事故防止対策について

Q 未就学児等の交通安全点検について。

A 公立保育所を始め19施設の散歩コースの安全点検を実施した。安全性に問題のある経路はあったのか。

A 25カ所の改善要望があった。事故防止対策は。

A キッズゾーン・キッズガードともに安全な保育の実施に効果が考えられるため、対策として取り入れていく。ゾーン30についても設定要望を行う。

◆防災士について

Q 防災士と自主防災組織との関わりについて。

A 防災士が地域のリーダーシップを取ることで、防災・減災活動の継続性が図られると考えている。

Q 防災士の役割と今後の拡充について。

A 地域防災の担い手である「一人」をつなぎ増やして行くための役割が期待されている。

A 自主防災組織に対しても資格取得にむけ積極的な働きかけを行う。

◆信州あいサポート運動について

Q 信州あいサポート運動の啓発と研修は。

A 職員が研修に参加し啓発や広報、研修会を行っていく。



保育園のお散歩



こばやし としはる
小林 歳春

佐久平駅南土地区画整理事業について 市立図書館の活用について



しみず ひでたか
清水 秀三郎

Q 昨年の令和元年東日本台風被害や新型コロナウイルスの影響で、市内商店街や飲食業は大変な苦境に陥っている。そんな中、佐久平駅南土地区画整理事業について、土地利用をする事業者や業種等の施設内容が、現時点での予定の中で示された。当該地区の事業推進、土地利用について、商工会議所や市内四商工会より、「当該地区開発により、市内地域商店街に甚大な影響を招く恐れがある」として、「慎重に開発をして頂きたい」との陳情書が市長、議長宛に提出され採択された。市内各地域商店街に対する活性化策について伺う。

A ①今後も市として、各地域商店街とのコミュニケーションを大切にして、適切な支援を行う②岩村田商店会のまちづくりを全市に波及させていく③補助金の見直しを適宜行うとともに、

Q 国・県の補助金を有効活用する④時代や状況にあった支援策を行う

Q 先進自治体では、図書館業務の中に、市民の調べ物を手伝えるファレンス業務（企画立案に関する文献調査や新聞記事選択など業務に関する調査の援助）、や、行政と議会の調査活動を支援するサービスなどを実施しているが、本市の現況について。

A 本市では行政・議会に対する特別な支援サービスは行っていないが、市民に対して著作権の範囲内で行っている。



市内の中央図書館

白田のまちづくりについて・白田イン ター工業団地整備と運動公園の改修など



やなぎさわ まさお
柳澤 眞生

Q 新工業団地整備の進捗と不況下で確実な企業誘致の方策は。

A 農地転用と開発許可が下り、所有権移転と用地代金支払い手続きに入った。令和2年度に造成工事を終え令和3年度に分譲開始する。不透明な景気動向のため事前公募を行う。市の有利な補助制度を知らせ製造業を中心に幅広く募集し、確実な誘致につなげたい。佐久市内外企業を受け入れたい。大きな経済波及効果が期待できる。

Q 総合運動公園の改修計画は。工事中マレットはできるのか。

A 開設から30年近く経過し、老朽化対応や駐車場拡張も合わせ大規模な改修を行う。令和5年度までにグラウンド整備、管理棟新設、テニスコート増設なども完了する。マレットも極力利用できる様配慮して進める。

Q 下越の「ホシノマチ団地」整備の現状と入居者の確保は。

A 1階4戸の改修と集会所整備が完了し、十一月から募集を開始したが現状入居者は未定。今後高齢者向けだけでなく全世代の移住者獲得をめざし、入居条件等も協議し取り組みたい。

Q 加齢性難聴者への補聴器購入費の助成を実施できないか。認知症予防効果も期待できる。

A 現在は身体障害者手帳所持の難聴者に助成が出ている。周囲の人々の配慮とコミュニケーションの工夫など環境整備で対応してもらおう。助成はできない。



心通う楽しい毎日

令和元年東日本台風災害について



せきもと いさお
関本 功

Q 台風災害における、河川の被害の原因について。

A 台風19号の降雨による異常な出水で四つの原因があります。

「越水被害」は河川水が越流し、のり尻を洗掘したこと。「河床洗掘被害」は護岸の基礎工前面が洗掘され、基礎が浮き上がり護岸背面土が吸い出されたこと。「すりつけ部からの被害」は改修護岸と未改修護岸のすりつけ部分から浸食されたこと。「護岸自体の被害」は河川水流により浸食され損傷したものである。

改良復旧事業があります。

Q 河川内の資源活用について。

A 河川内の堆積土砂は大量であり、そのすべてを現地活用のみで処分するのは困難である。県においては「長野県砂利砕石業協会佐久支部」と今後の取り組みについて相談している。

AQ 河川の改良復旧について。

多大な被害を受け被災箇所
の復旧のみでは、再度災害の
防止が十分でない場合に被災
していない箇所を含む一連区
間において、堤防の嵩上げや
川幅の拡大などの施設機能の
強化等を図る改良復旧として、
各種事業の採択を受けて行う



志賀川の被災状況

新型コロナウイルス感染症の 対応について

終息の見通しが立たない新型コロナウイルスによる感染症により、市民等の不安が高まっている中、佐久市議会として3月9日、各会派代表者の連名で提案された「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」を全会一致で可決し、国へ提出しました。

また、代表質問と一般質問についても、感染拡大予防等の観点から、緊急性のない質問は6月定例会以降に送り、時間短縮をはかりました。

議会においても、新型コロナウイルス感染症対策連絡協議会を立ち上げ対応しています。

3月9日に予定していた議場コンサートは、感染拡大防止のため中止といたしました。楽しみにされていた皆様には心からお詫び申し上げます。



※議会全員協議会において、市側から対応状況等の説明を逐次受けています。

行政視察報告

栃木県日光市 「合理的配慮の提供の支援に係る助成制度」

「手話言語条例制定後の取り組み」

「自主製品・役務力タログの取り組み」

社会委員会

社会委員会では、市民の皆様との意見交換会で出された「小中学生の皆さんに、手話に接する機会を設けてほしい。」という意見を受け、学校教育現場での手話の推進等を行っている栃木県日光市へ、視察に行ってきました。

詳細は、ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



行政視察QRコード



令和2年 3月定例会

令和2年3月定例会を2月21日から3月25日までの34日間の会期で開き、条例改正や令和2年度当初予算など55件、意見書3件を可決及び同意しました。

議案の審議結果

議案番号	議案名	審議結果	議案番号	議案名	審議結果
3	佐久市組織条例の一部を改正する条例の制定について	○	32	令和元年度(2019年度)佐久市奨学資金特別会計補正予算(第1号)について	○
4	佐久市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	33	令和元年度(2019年度)佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算(第2号)について	○
5	佐久市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	34	令和元年度(2019年度)佐久市茂田井財産区特別会計補正予算(第1号)について	○
6	佐久市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	35	令和元年度(2019年度)佐久市国保浅間総合病院事業特別会計補正予算(第3号)について	○
7	佐久市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	36	令和元年度(2019年度)佐久市下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	○
8	佐久市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	37	令和2年度佐久市一般会計予算について	○
9	佐久市福祉会館条例を廃止する条例の制定について	○	38	令和2年度佐久市国民健康保険特別会計予算について	○
10	佐久市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	39	令和2年度佐久市介護保険特別会計予算について	○
11	佐久市障害福祉サービス事業施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	40	令和2年度佐久市障害者支援施設白田学園特別会計予算について	○
12	佐久市介護予防施設条例及び佐久市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	○	41	令和2年度佐久市後期高齢者医療特別会計予算について	○
13	佐久市農業研修生住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	42	令和2年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	○
14	佐久市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	43	令和2年度佐久市奨学資金特別会計予算について	○
15	佐久市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	44	令和2年度佐久市環境エネルギー事業特別会計予算について	○
16	佐久市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について	○	45	令和2年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計予算について	○
17	佐久市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	46	令和2年度佐久市茂田井財産区特別会計予算について	○
18	佐久市望月土づくりセンターの指定管理者の指定について	○	47	令和2年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計予算について	○
19	佐久市辺地総合整備計画の策定について	○	48	令和2年度佐久市下水道事業特別会計予算について	○
20	ワークテラス佐久の指定管理者の指定について	○	49	ケーブルテレビケーブル施設整備事業に関する協定の締結について	○
21	(仮称)佐久白田インター工業団地用地の取得について	○	50	令和元年度(2019年度)佐久市一般会計補正予算(第12号)について	○
22	市道の路線認定について	○	51	教育委員会委員の任命について	○
23	市道の路線変更について	○	52	公平委員会委員の選任について	○
24	市道の路線廃止について	○	53	農業委員会委員の任命について	○
25	訴えの提起について	○	54	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○
26	令和元年度(2019年度)佐久市一般会計補正予算(第10号)について	○	55	令和元年度(2019年度)佐久市一般会計補正予算(第13号)について	○
27	令和元年度(2019年度)佐久市一般会計補正予算(第11号)について	○	56	令和2年度佐久市一般会計補正予算(第1号)について	○
28	令和元年度(2019年度)佐久市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○
29	令和元年度(2019年度)佐久市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	意見書第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	○
30	令和元年度(2019年度)佐久市障害者支援施設白田学園特別会計補正予算(第1号)について	○	意見書第2号	免税軽油制度の継続を求める意見書	○
31	令和元年度(2019年度)佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	意見書第3号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	○

【結果の表示】 ○全会一致で可決・同意 ○賛成多数で可決(下段に賛否一覽)

請願・陳情の審議結果

番号	請願・陳情者	要旨	審議結果
令和2年 請願第1号	佐久市上平尾2066-1 株式会社 平尾山観光 代表取締役 越山進一	免税軽油制度の継続を求める請願	採択
令和2年 請願第2号	佐久市跡部140-1 佐久市文書館(仮称)の設置を求める有志の会 会長 伴野敬一	「佐久市文書館(仮称)」の設置を求める請願	継続審査
令和元年 陳情第5号	佐久市布施2477-142 代表 東長者原区区长 箕輪有真 外2名	「長者原太陽光発電施設」建設計画反対に関する陳情	取下げ議決
令和2年 陳情第1号	長野市高田276-8 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情	継続審査
令和2年 陳情第2号	佐久市岩村田3162-13 りんどう会 会長 村上裕史	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書の提出を求める陳情	採択
令和2年 陳情第3号	佐久市布施2477-142 代表 東長者原区区长 箕輪有真 外2名	住民合意のない大規模太陽光発電施設建設を認めない条例の制定を求める陳情	不採択

賛否一覽

議案等番号 議案等略名	新政ネット										新緑会			公明党		日本共産党		無所属	議決結果				
	中條	市川	市川	小林	神津	高橋	関本	柳澤	吉川	土屋	清水	三岡	井出	土屋	高柳	和嶋	江本			小林	内藤	柳澤	塩川
議案第37号 令和2年度佐久市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第3号 住民合意のない大規模太陽光発電施設建設を認めない条例の制定を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	■	■	不採択

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長(神津正)は採決に加わりません。

※これ以外の案件等は、全会一致でした。

総合戦略に関する提言書を市長へ提出しました。



第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業について、政策検討会座長の和嶋議員を中心に、2回の政策検討会と政策討論会を経て提案事業内容をまとめ、2月3日、議長から市長へ提言書を提出しました。

市政の発展、また、市民福祉の向上に寄与することを願い、子育て支援に係る事業ほか、35事業を提案しました。

松本・佐久地域高規格道路建設促進議員連盟を設立しました。

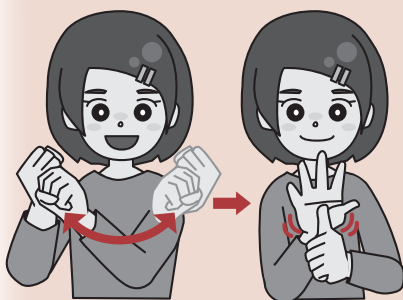
3月25日、佐久地域と松本地域を結ぶ地域高規格道路の建設促進を図ることを目的とした議員連盟の設立総会が開催されました。

佐久市議会の全議員で組織し、佐久地域と松本地域の交通や産業経済等の発展を図るため、関係団体とも協力して要望活動等を行っていきます。



手話を学ぼう

～会話をしてみよう～



両手をグーにして手を上下に置いたら、旗を振るように左右に動かします。そのあとに、左手の親指を立て、その背中部分を右手でポンポンと押し出すように軽く2回叩きます。

応援(する)・声援

議会だより表紙大募集中!!

イラストや、佐久市内で撮影した行事や風景などの写真を募集中です。

年間を通して随時応募を受け付けていますが、各号ごとの審査対象は次の期日までに応募があった作品としています。

- ・ 8月1日発行号 ▶▶ 6月30日までの受付
- ・ 11月1日発行号 ▶▶ 9月30日までの受付
- ・ 2月1日発行号 ▶▶ 12月25日までの受付
- ・ 5月1日発行号 ▶▶ 3月31日までの受付

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧くださいか、議会事務局へお問い合わせください。

今号も多数ご応募いただきありがとうございました。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

★次の定例会(令和2年6月定例会)の開催予定は右欄のとおりです。

聴覚に障がいのある方で、議会の傍聴を希望される場合、手話通訳及び要約筆記を配置いたします。事前に申込みが必要となりますので、詳しくはホームページでご確認ください。



3月定例会代表質問での要約筆記の様子



問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495 (直通)

次回定例会のお知らせ 【令和2年6月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
5月31日	6月1日	2	3	4 本会議 (開会)	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18	19 本会議 (議案質疑) 委員会	20
21	22 委員会	23 委員会	24 委員会	25 委員会	26	27
28	29	30 本会議 (閉会)	7月1日	2	3	4

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



いのるな
飯野 瑠那 さん
(東小学校6年生)

佐久っ子の夢、応援します!

「食べた人が幸せになれるパン職人になること。」このように自分の夢を私たちに話してくれたのは、東小学校6年生飯野瑠那さんです。

お母さんと一緒に買い求めたパンを食べたとき、「美味しい、そして、なんて幸せな気持ちになれたのだろうか? どうしたらこんなに素晴らしいパンが作れるのだろうか?」この思いが瑠那さんの夢へと繋がったとのこと。

そして今はその夢の実現のため、学校や家庭での生活では、どんな時でもまた、地道な作業でもコツコツと丁寧にそして笑顔を決やさず一生懸命取り組んでいました。

将来のパン屋さんの名前をお聞きしましたがまだ決まっていなかったことでしたが、お店の名前が決まり、開店の時には私たちが絶対に瑠那さんの焼いたパンを買いますと約束をして取材は終わりました。

佐久市議会ではこれからも佐久の子どもたちの夢を応援していきます。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議等のほかに行っている主な活動を、写真で報告していきます。

東信5市の議会議員研修会



1月15日

東信5市議会合同議員研修会が千曲市で開催されました。今回は、法政大学スポーツ健康学部の山本浩教授から、「2020年東京大会成功の鍵を探す〜「おもてなし」の灯をともしせ〜」と題してご講演をいただきました。

PTA連合会との意見交換会



1月31日

総務文教委員会では、佐久市PTA連合会役員の方々と意見交換会を実施しました。通学路等、電子メディア、いじめ不登校、部活動と4つのテーマに分かれて、活発に意見を交わしました。

女性リーダー養成研修生との意見交換会



2月12日

女性議員連盟の5名が、女性リーダー養成研修生9名と意見交換会を実施しました。介護、子育て、ごみ問題、土地利用など多岐にわたって活発に意見を交わしました。

佐久青年会議所との意見交換会



2月14日

議会活性化特別委員会では、「議会の見える化」に向けた取り組みのひとつとして、多くの市民の方々の声を聴くため、佐久青年会議所の皆様と意見交換会を実施しました。

